


将来に必要な経験②


介護 訪問リハビリ・訪問介護支援を基盤に
リハ医・専門支援チームとの連携で
利用者に移行支援・自立支援・重度化予防・
QOL向上支援



「生活」「暮らしぶり」の再構築を図り、
「やってみよう」を引き出しカタチにする。
画一的なリハ支援に足りない要素を補う
「活動・参加のスペシャリストとして唯一無二の存在に！」

将来に必要な経験③

**生活支援
介護予防** 総合事業部を中心に、行政・自治会・保健所
と連携し委託事業（健康体操・地域ケア会議・
個別集団地域支援事業、総合事業企画運営）
地域の「集いの場」づくりなどの活動



ニーズの中心となる団塊世代に対し、
「地域における予防分野の相談役として活躍！」
「セラピスト+CMによる予防分野の独立実践」

入社してからの流れ(PT/OTの場合)

1年目:
・デイサービス勤務(週5日)
利用者様の個別リハビリに従事(中枢神経系、整形、難病など)

2年目:
・デイサービス勤務(週3.5日) + 訪問リハビリ勤務(週1.5日)
在宅でのリハビリテーションを提供

3年目:
・デイサービス勤務(週0.5日) + 訪問リハビリ勤務(週3.5日)
・看護師訪問への同行にて医療的ケアの研修と習得(週0.5日)

4年目以降
・デイサービス勤務(週0.5日)
指導者として新卒者、後輩の教育に従事
・訪問リハビリ勤務(週4.5日)

5年目以降
適性や希望に応じてリーダー、主任、責任者などへ昇進

入社してからの流れ(STの場合)

1年目:(上司、先輩に多くの時間を一緒に)
・デイサービス/クリニック業務(週4日)
個別リハビリ(中枢神経系、整形、難病など)と口腔機能向上サービスに従事
・訪問リハビリ業務(週1日):8月頃から開始
失語症/構音障害の方が中心、嚥下障害はバイザーが責任者とのW担当

2年目:
・デイサービス/クリニック勤務(週2日~2.5日)
・訪問リハビリ勤務(週2.5日~3日)、引き続き嚥下障害はバイザーが責任者とのW担当

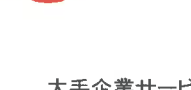
3年目:
・デイサービス/クリニック勤務(週0.5日~1日)
・訪問リハビリ勤務(週3.5~4日) 単独にて嚥下障害を担当
・訪問看護師への同行にて医療的ケアの研修(週0.5日)

4年目以降
・デイサービス勤務(週0.5日):指導者として新卒者、後輩の教育に従事
・訪問リハビリ勤務(週4.5日)

5年目以降
適性や希望に応じてリーダー、主任、責任者などへ昇進

将来に必要な経験④

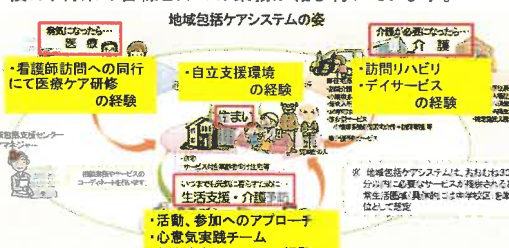
住まい 在宅リハビリでの住環境及び周辺地域環境
調整支援の経験やノウハウ・資格取得により



大手企業サービス付き高齢者住宅などにおける
「自立支援ケア体制の企画・運営。」
今後の高齢化・人口減少に伴うコンパクトシティ
づくりにおいて、都市部・地方など地域における
「行政街づくりへのアドバイザー」

将来の目標と日々の業務が直結

アクティブでは、国が推進している「地域包括ケアシステム」に沿った、「医療」「介護」「生活支援・介護予防」「住まい」での経験が積み、将来の目標と日々の業務が結び付いています。



地域包括ケアシステムの姿

- ・看護訪問への同行にて医療ケア研修の経験
- ・自立支援環境の経験
- ・訪問リハビリ・デイサービスの経験
- ・生活支援・介護予防
- ・活動・参加へのアプローチ
・心算気実践チーム
・総合事業の経験

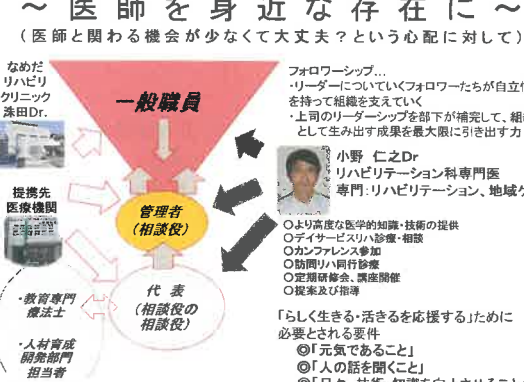
教育専門チーム

教育専門の療法士が各事業所を巡回し、デイサービスでの同席指導、訪問リハビリの同行、研修会、勉強会などを通して直接的、間接的な指導をおこなっています。

※新卒者には「技術」「リスク管理」「リハビリの展開方法」「利用者、先輩にかわいがってもらう力」などを丁寧に指導していきます。

～医師を身近な存在に～

(医師と関わる機会が少なくて大丈夫？という心配に対して)



一般職員 フォロワーシップ...
・リーダーについていくフォロワーたちが自立性を持って組織を支えていく
・上司のリーダーシップを部下が確定して、組織として生み出す成果を最大限に引き出す力

管理者(相談役) 小野 仁之Dr.
リハビリテーション科専門医
専門:リハビリテーション、地域ケア

- より高度な医学的知識・技術の提供
- デイサービスリハ診療・相談
- カンファレンス参加
- 訪問リハ同行診療
- 定期研修会、講座開催
- 提案及び指導

「らしく生きる・生きるを応援する」ために必要とされる条件


- ◎「元気でいること」
- ◎「人の話を聞くこと」
- ◎「日々、技術・知識を向上させること」

教育

教育システム

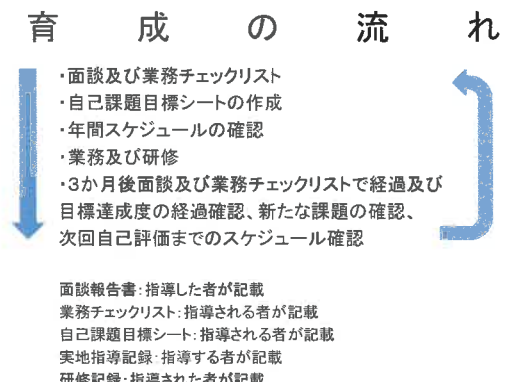
新卒の方には「やっぱりアクティブに就職して良かったなあ」と思ってもらいたい

- ・教育専門療法士によるきちんとした指導
- ・看護師訪問へ同行し医療的ケアの研修
- ・クリニックとリハビリテーション科専門医によるデイ、訪問でのアドバイス
- ・デイサービスや訪問リハビリ業務での先輩療法士や多職種との共働
- ・実際に地域で働いている人材との共働
- ・様々な病院出身の先輩との共働
- ＝様々な手技や考え方に触れる機会が持てる
- ・人材育成開発室の設置



リハ小野Dr.からのリハビリ指導

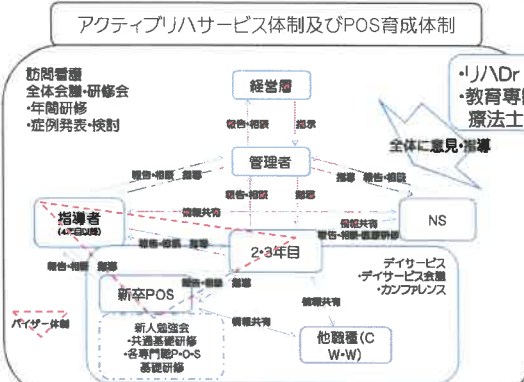
育成の流れ



- ・面接及び業務チェックリスト
- ・自己課題目標シートの作成
- ・年間スケジュールの確認
- ・業務及び研修
- ・3か月後面接及び業務チェックリストで経過及び目標達成度の経過確認、新たな課題の確認、次回自己評価までのスケジュール確認

面談報告書:指導した者が記載
業務チェックリスト:指導される者が記載
自己課題目標シート:指導される者が記載
実地指導記録:指導する者が記載
研修記録:指導された者が記載

アクティブリハビリサービス体制及びPOS育成体制



訪問看護
全体会議・研修会
・年間研修
・症例発表・検討

経営層
経営・相談
指導

管理者
指導・相談
指導

指導者(PT/OT)
指導・相談
指導

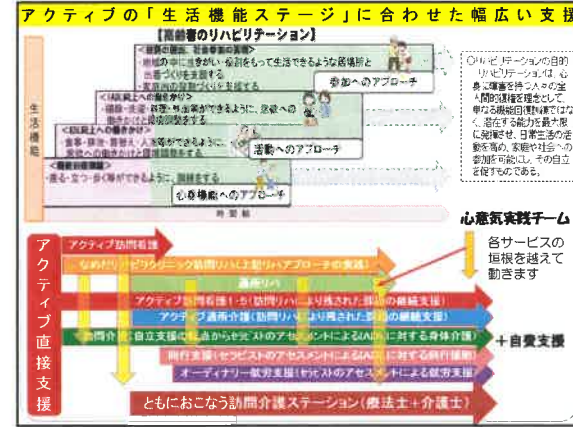
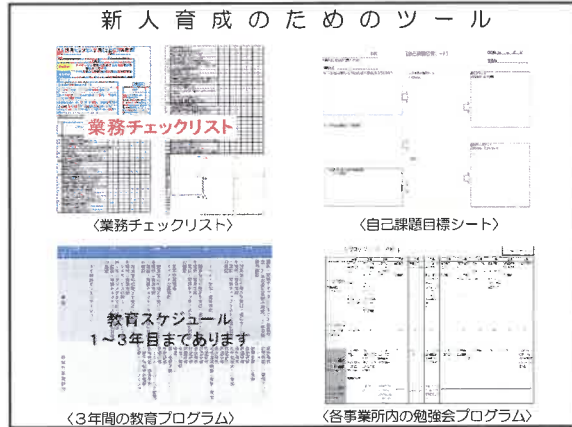
新卒POS
新人監修
・共通基礎研修
・各専門部P-C-S
基礎研修

2・3年目
指導・相談
指導

他職種(CW-W)
指導・相談
指導

リハDr・教育専門療法士
全体に意見・指導

職種	育成の方針を指示する。管理職からの報告により育成に必要な環境(ハード、ソフト)を整える。
教育専門療法士	新卒者、2・3年目、指導者、管理職、経営層のすべての考えを取り入れ、新人および現場職員に必要な、知識、経験、を指導
管理職(責任者・主任)	初期・過期業務にて指導者、新卒者、2・3年目、NS、デイ職員のモニタリング及び相談への対応を行う。業務による負担状況の把握を行う。指導者および新卒者、2・3年目の研修業務を受け指導方針の指示を行う。研修期間の企画及び実施を行う。全体研修及び個人研修の企画として新卒者などに指導する。(相談指導は現場モニタリング、企画、実施後、研修など随時)
指導者(4年目以降)	過期・過期業務の中で新卒者、2・3年目のモニタリング及び相談への対応を行う。全体研修など適宜に新卒者、2・3年目の育成業務を行う。全体研修及び個人研修の企画として新卒者に指導する。特定の業務を中心とする研修企画として定期的な研修を行う。研修内容を管理職に報告する。全体研修及び個人研修の企画として新卒者に指導する。(相談指導は現場モニタリング、企画、実施後、研修など随時)
2・3年目	過期の業務の中で新卒者の相談への指導を行う。特定の業務の指導担当となり定期的に研修を行い。研修内容を指導者に報告する。業務経験やチェックリストなどで2年目・3年目の目標を明確にし業務や研修に反映し、全体研修会や個人研修会を開催し、研修内容を管理職に報告する。(相談指導は現場モニタリング、企画、実施後、研修など随時)
新卒者	過期業務において各年代、専門性に相談し、指導を受ける。1年研修やチェックリストなどで2年目・3年目の目標を明確にし業務や研修に反映し、全体研修会や個人研修会を開催し、研修内容を管理職に報告する。(相談指導は現場モニタリング、企画、実施後、研修など随時)
看護師	体系的ケアの提供、指導、過期業務の業務の中で新卒者及び2・3年目の相談への指導を行う。全体研修及び個人研修の企画として新卒者に指導する。
他職種(CW-W)	過期業務の中で新卒者及び2・3年目に利用者の生活情報を提供する。過期業務において連携を行う。研修や相談に協力する。
小野Dr	各職種の相談、過期業務、ケースカンファレンス、社内研修会において「ハラスメント」の発見や指導などを行う。月1回、日曜勤務。



1年目の到達目標

◎社会人・地域で働く一員として

- ・事業所が掲げる理念などを理解し日々の業務に取り組む
- ・1年間働ける体力・精神力を身につける
- ・ビジネススキルやサービス業としての意識を持つ

◎療法士として

- ・多職種との共働により療法士としての役割を確認する
- ・きちんと「サービス計画書=リハビリ計画書」の立案とリハビリサービスを提供する事が出来る

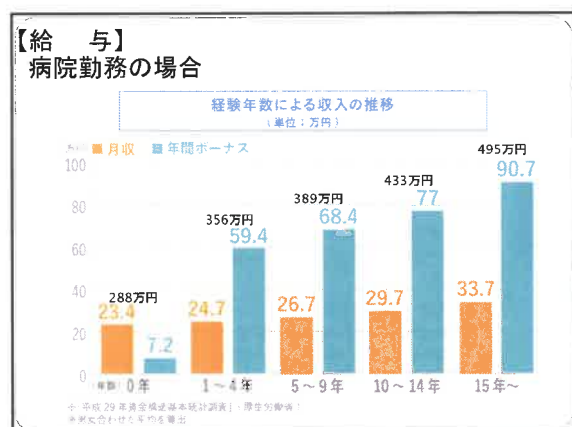
処(待)遇

将来



アクティブはなぜ給与が良いの？

人じゃないとできない事業だから
「人材こそが最も大切な資源」と考えているからです



将来に必要な経験①

医療

訪問看護(24時間体制)・クリニックにおける在宅医療支援を基盤に、速まる在院日数・高まる在宅療養ニーズに合わせた経験

医療依存度の高い神経難病・ガン末期・内部疾患・ターミナル期などの利用者に対し
主治医・看護師など関連職種との密な連携により
「地域医療支援に特化した訪問セラピストへの道」

アクティブ訪問看護ステーション
(療法士と看護師)

なめだリハビリテーションクリニック
(療法士と医師)


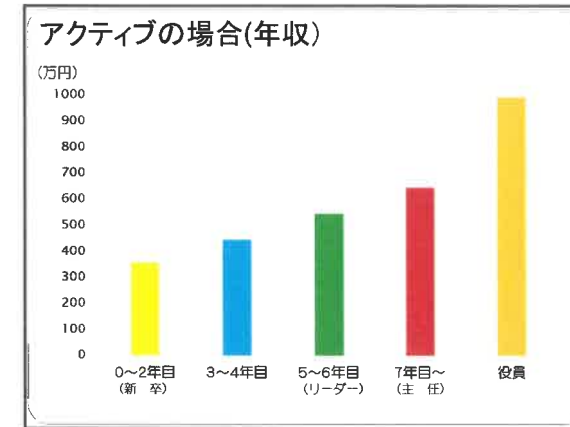
業務提携

- ・利用者の状況やニーズに応じた訪問内容の使い分け
- ・医療機関を持つ強味
(初療改定のリスクを分散できる
事業展開がダイナミックかつスムーズ)
- ・医師と働くことでより質の高いリハビリがおこなえる

山崎診療所 (大阪市東成区)
～提携医療機関の一例～

提携医療機関である山崎診療所は整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科の専門医である理事長: 連(むらじ)美知子先生を中心に地域に根ざした医療を提供している歴史ある診療所です。

- ・整形外科
- ・リウマチ科
- ・リハビリテーション科
- 外来リハビリ
- 訪問リハビリ
- 通所リハビリ(短時間デイケア)

地域リハ支援のキャリアアップイメージ

専門支援・リハビリ・臨床・管理など何でもできるよになりませう

キャリアアップのイメージとして、様々な業務領域が示されています。アクティブでの経験が、より高いキャリアへと繋がります。

イベント・講演講義

- ・日々の業務を形にして地域にかえす
- ・地域に交流・発表・つながる機会をつくる



就労支援事業


『働くこと』これも大切なことだと考えています。障がいをお持ちになった方々の就労支援をおこなっています。

- ・当社運営カフェ「オーディナリー」、キッチン、ファーム&ストア
- ・療法士養成校での実習前モデル講師、失語症なのに漢字
- ・復職前の就労評価と練習 など

失語症、右片麻痺の利用者さん、高次脳機能障害の利用者さん



4年目以降の働き方例



- 経験5年目 訪問業務中心にデイで新人育成 年収500~650万円
- 経験4年目 訪問業務は週2日~3日 デイで行政委託事業 年収420~500万円
- 経験6年目 訪問業務は週2日~3日 総合事業部にて地域リハ開発・コーディネーター 年収600万円~

地域リハを目指す療法士にとって(株)アクティブで働くメリット

- ・地域に必要とされる事業や療法士育成のノウハウがある
- ・共働する先輩が多い「PT,OT,ST,Ns:150名」
- ・提携クリニックが有ることで安定した経営と医師が身近な存在
- ・サービス業であるため内外からのフィードバックが直接的で成長も早い
- ・病院では限界のある退院後の「生の生活」に密着したアプローチができる
- ・「将来の目標」と日々の業務が直結している
- ・新卒療法士を育ててきた8年間の実績がある
(PT 17名 OT 17名 ST 7名)

心意気実践チーム

『活動・参加』に焦点を当てた専門サポートチームです。心身機能面も大切にしながら、社内外の各サービスや資源のつなぎ役、支援の枠組み作り、現場への同行など各サービスの垣根を超え活動をしています。

例)家事リハ、外出リハ、余暇リハ、ボランティアリハ、就労支援リハ など

リハ+ケア(介護福祉士取得、実務者研修修了) 訪問リハ+訪問リハ+デイリハ+リハケア+就労支援

リハ職としてのみ働くのではなく、「特技や個性」を活かした一人数役の働き方も可能

心意気実践チームの役割

- ・自立支援の観点から、利用者さまを取り巻く社内外の人的・物的・制度的資源や環境を有効活用・創出し、活動・参加につなげるスキッパー(総括)、ファシリテーター(世話人)
- ・選択的かつ個別性、継続性が高い活動・参加への支援体制創り(2人アクティブクラブ)
- ・活動・参加に関する社内外の各サービス、資源のつなぎ役、枠組み作り
- ・各事業所を巡回し、モデルケースの事例検討会等の開催、社内での周知、ケース集約
- ・モデルケースとなりうる利用者様、CM等を巻き込んだ事例の積み重ね
- ・家事リハ、外出リハ、余暇リハ、ボランティアリハ、リハワークなど、自立支援の観点から(訪問介護・ヘルパー+移動支援・ガイドヘルパー+自費+ボランティア)の実践
- ・介護職実務者研修会の開催(人材育成+能力開発)、チームメンバーの育成
- ・アクティブリハビリ訪問介護ステーションの設立、運営管理
- ・関連学会での発表・報告、社報「(仮)キラリ心意気!」の発行、公式ブログの充実

地域や訪問に出る前に何が必要?
今後よく聞く話

将来的には訪問や地域の分野で働きたいけど、まずは「アクティブ」に就職して経験積まない!

目標
・訪問リハビリ地域のスペシャリスト
・お金を稼ぐ
・起業する


将来の目標と日々の業務が直結しています

現在:新卒1年目 アクティブでの経験

アクティブ訪問看護ステーション

<http://active-nopsj.com/>

ウェブサイトのをぞいてみてください。
「株式会社アクティブ」の雰囲気少し伝わるとおもいます。



訪問リハビリ業界の流れは・・・

地域のニーズは・・・

介護保険分野、在宅でのリハビリテーションの必要性や認識の高まり(リハ職種への理解向上)、高齢化や在院日数の減少、外来リハビリが受けられない、診療科にリハビリが無い、在宅療養環境の拡大など様々な要因で幅広い対象者が療法士の支援を必要としている

少し前は・・・

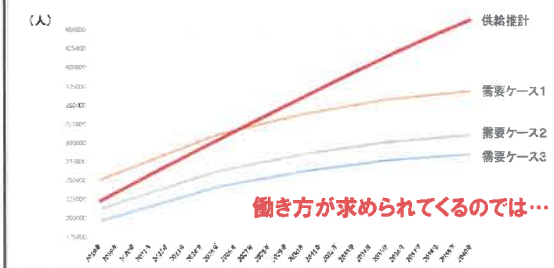
需要に対して供給が追いついていない

現在は・・・

数はそろってきた。より効果的・効率的・専門的・多職種との連携(医師の関与、看護師の関与)で良質でスピーディなサービス支援体制が求められている

ちなみに PT・OTの今後の需給バランス

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果と推計



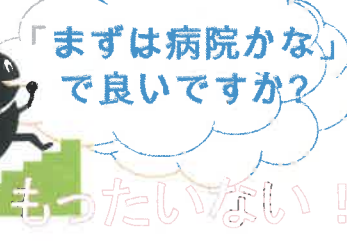
地域や訪問に出る前に何が必要?

今もよく聞く話

将来的には訪問や地域の分野で働きたいけど、
まずは病院に就職して経験積まないと・・・

将来の目標が・・・

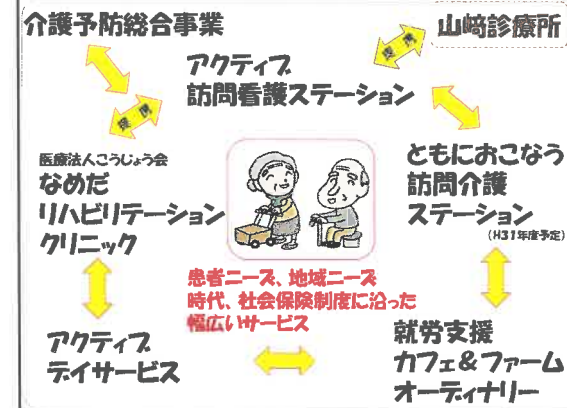
- ・訪問リハビリの専門家
- ・地域リハビリで働きたい
- ・療法士の仕事でしっかり稼ぎたい
- ・起業したいのなら・・・



編者: 新卒1年目

事業内容

- ・商号: 株式会社アクティブ 平成18年7月26日会社成立
- ・松原本社: 大阪府松原市東新町2-173-7
- ・大阪本社: 大阪市東成区大今里南1-5-12
- 平成18年10月 アクティブ訪問看護ステーション開設
- 平成23年5月 アクティブデイサービス松原開設
- 平成24年1月 堺営業所開設(堺市堺区)
- 平成24年5月 泉北営業所開設(堺市中区)
- 平成24年8月 東成営業所開設(大阪市東成区)
- 平成25年4月 東成事業所化、吹田営業所開設(吹田市)
- 平成25年9月 大正営業所開設(大阪市大正区)
- 平成27年8月 就労継続支援A型(作業所)『カフェ オーディナリー今里』
- 平成28年5月 就労継続支援A型(作業所)『カフェ、キッチン&ファーム松原』
- 平成28年8月 なめだリハビリテーションクリニック開設&業務提携
- 平成30年12月 ともにおこなう訪問介護ステーション開設
- 平成31年3月 なめだリハビリテーションクリニックの医療法人化



アクティブ訪問看護ステーション
 アクティブデイサービス
 なめだりハビリテーションクリニック

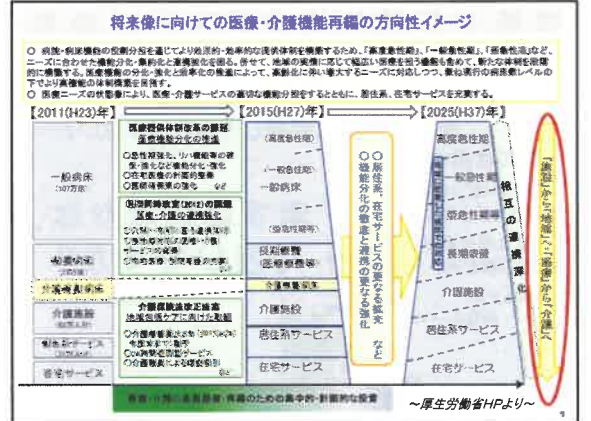
株式会社 アクティブ
 代表：阪東 祐一郎



おもしろいことを
 まじめにやっている
 企業です

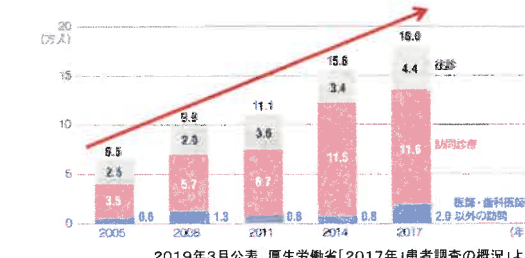
株式会社アクティブの強味

- ・給与が良い
- ・医療法人との提携で安定雇用
 & 株式会社のフットワークの軽さ
- ・新卒から訪問リハビリを目指すための
 充実した教育体制
- ・大阪という個性豊かな街



在宅医療分野の需要は

- ・在宅医療を受ける患者は、2005年からの12年間で、約2.8倍にまで増えている
- ・2025年に向け在宅医療の需要はさらに増大する見込み



病院の病床数の減少

- ・2008年からの10年間で約5万床減少している。国が推し進める地域医療構想では2025年に必要な一般病床は119万床と推計している。現状では供給過剰状態。

